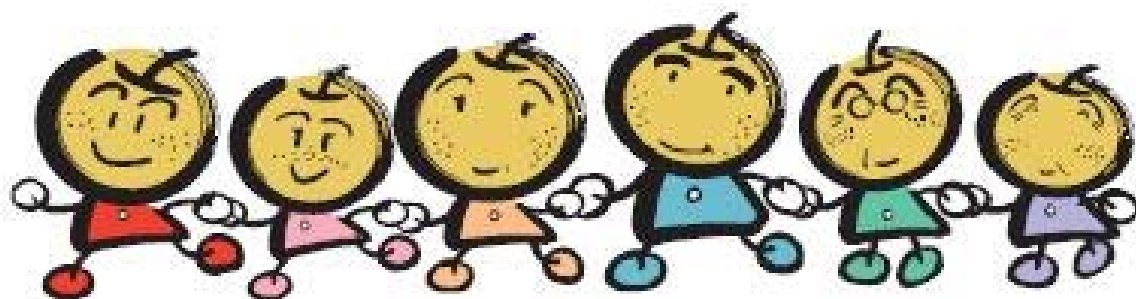


学習等供用施設

(通称：富士センター)

- 1 施設概要
- 2 団体別・部屋別利用状況
- 3 事業報告



施設概要

| | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|--|----------------|------------------------------|
| 施設名 学習等供用施設 (富士センター) | | 開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 出張所業務 午前8時30分～5時15分 (開庁日：火～日) | | | |
| 所在地 | 〒270-1432 白井市富士239-2 | 併設施設 | 市役所出張所・公民館・児童ルーム・ 図書室・老人憩いの家の機能を備えた 学習施設 | | |
| TEL | 047(446)1911 | FAX | 047(498)5011 | | |
| メール | fuji-center@city.shiroi.chiba.jp | | | | |
| 休館日 | 月曜日・祝日・年末年始 | 駐車場 | 27台 | | |
| 職員構成 26年4月現在 | 所長 1名 事務職 3名 パート3名(事務2名 用務員1名) 司書1名 (委託関係職員 児童厚生員2名 事務3名 夜間管理2名 用務員1名) 合計16名 | | | | |
| 貸出施設 | 1時間あたりの施設使用料 (社会教育認定団体はレクホール以外2分の1) ※ () 内は社会教育認定団体料金 | | | | |
| | 部屋名 | 定員 | 9:00-17:00 | 17:00-21:00 | 付帯設備 |
| | 集会室 | 20名 | 230円 (115円) | 340円 (170円) | 机10本 椅子30脚 |
| | 休養室(2) | 36名 | 230円 (115円) | 340円 (170円) | 座卓12本 鏡4台 |
| | 調理室 | 24名 | 480円 (240円) | 590円 (295円) | 調理台4台 椅子20脚 |
| | 視聴覚室 | 20名 | 640円 (320円) | 750円 (375円) | 机10本・椅子38脚・ピアノ・ ビデオ・映写機など |
| | 大集会室 | 100名 | 640円 | 750円 | 机20本・卓球台4台・ 椅子150脚 |
| 貸し出し 可能備品 | | | | | |

平成26年度 公民館等団体別利用状況 (学習等供用施設)

| 種別 | 青少年 | | 成人 | | 女性 | | 高齢者 | | その他 | | 個人 | | 合計 | |
|----|-----|-------|-------|--------|-----|-------|-----|----|-----|-------|----|-----|-------|--------|
| | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 | 件数 | 人数 |
| 4 | 14 | 174 | 118 | 1,360 | 52 | 493 | 2 | 17 | 9 | 87 | 6 | 82 | 201 | 2,213 |
| 5 | 22 | 372 | 135 | 1,289 | 49 | 501 | 3 | 18 | 8 | 62 | 2 | 13 | 219 | 2,255 |
| 6 | 21 | 484 | 126 | 1,236 | 43 | 446 | 2 | 13 | 26 | 245 | 6 | 56 | 224 | 2,480 |
| 7 | 20 | 330 | 137 | 1,373 | 40 | 359 | 2 | 8 | 33 | 893 | 6 | 59 | 238 | 3,022 |
| 8 | 18 | 500 | 101 | 989 | 30 | 336 | 0 | 0 | 17 | 368 | 8 | 65 | 174 | 2,258 |
| 9 | 31 | 750 | 183 | 1,835 | 46 | 485 | 0 | 0 | 11 | 203 | 4 | 22 | 275 | 3,295 |
| 10 | 18 | 308 | 200 | 1,922 | 50 | 585 | 0 | 0 | 13 | 209 | 2 | 17 | 283 | 3,041 |
| 11 | 17 | 287 | 127 | 1,586 | 47 | 508 | 0 | 0 | 16 | 241 | 5 | 28 | 212 | 2,650 |
| 12 | 18 | 316 | 108 | 983 | 37 | 397 | 0 | 0 | 32 | 151 | 1 | 8 | 196 | 1,855 |
| 1 | 19 | 320 | 112 | 1,160 | 45 | 458 | 0 | 0 | 10 | 136 | 7 | 92 | 193 | 2,166 |
| 2 | 19 | 304 | 120 | 1,276 | 46 | 443 | 0 | 0 | 6 | 85 | 3 | 11 | 194 | 2,119 |
| 3 | 19 | 364 | 127 | 1,297 | 32 | 319 | 0 | 0 | 5 | 36 | 11 | 101 | 194 | 2,117 |
| 合計 | 236 | 4,509 | 1,594 | 16,306 | 517 | 5,330 | 9 | 56 | 186 | 2,716 | 61 | 554 | 2,603 | 29,471 |

平成26年度部屋別利用件数・人数

| 部屋名 | 利用件数(件) | 利用人数(人) |
|------|---------|---------|
| 集会室 | 517 | 5,513 |
| 大集会室 | 1,048 | 12,686 |
| 視聴覚室 | 560 | 6,685 |
| 調理室 | 109 | 1,149 |
| 休養室 | 369 | 3,438 |
| 合計 | 2,603 | 29,471 |

平成26年度学習等供用施設事業報告

白井市全体の施策方針（第4次総合計画後期基本計画から）

- ・安心して子育てできる地域社会を築く
- ・青少年が安心して社会と交流できる場の提供
- ・市民の多様ニーズに応えながら、地域問題の解決につながる学習活動支援
- ・生涯にわたる学習活動や文化活動の支援
- ・自主活動しているサークル活動が活動しやすい環境づくり
- ・学習成果を地域に生かす環境づくり

1. 運営方針

平成26年度 学習等供用施設 運営方針

(1) 全体の運営方針

「地域交流」・「多世代交流」を軸とした事業を展開し、市民の相互協力による地域活性化のための拠点とし、地域の連帯を深める。

(2) 分野別方針

| | 運営目標 |
|--------------|--|
| 家庭教育 (1) | ①同年代の子どもを持つ親の知識を深め、相互交流を図り、子育てを支援する。 ②親子のコミュニケーションを深めるきっかけを作る。 |
| 青少年教育 (2) | ①高齢者との関わりを持たせ、感性を育み、心豊かな成長を促す。 ②学年の異なる子どもたち、学区を超えた子どもたちの交流を図る。 ③社会的体験、地域交流を重ねて、地域の子ども達が自主活動できるような機会をつくる。 |
| 成人教育 (3) | ①日常生活や余暇の充実を図るための教養を高める。 ②学習意欲の向上と生涯学習の機会と環境づくりに努める。 |
| 団体育成 (4) | ①利用者団体や地域住民との交流を図り、団体活動の実施意欲の向上に努める。 ②生涯学習の楽しさや意義を学ぶための講座を展開する。 |

(3) 平成26年度 重点に実施した項目

地域の交流の場としての講座等を実施していく。

2. 学習等供用施設 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

| 対象 | 学級・講座名 | 回数 | 参加人数 |
|--------------|----------------|-----|------------|
| 家庭教育 (1) | ベビーサイン | ①・② | 1回 8組16人 |
| | ベビーマッサージ | ①・② | 1回 8組16人 |
| | ベビー&キッズ お話会 | ①・② | 1回 4組8人 |
| | 離乳食を作って食べてみよう | ①・② | 1回 7組14人 |
| | ベビー&キッズ 映画会 | ①・② | 1回 51人 |
| | 親子であそぼう&いちごクラブ | ①・② | 10回 延べ547人 |
| | みるく | ①・② | 9回 96人 |
| | 親子でゴーゴーチャレンジ | ①・② | 1回 13人 |
| | 親子で作ろうハンドメイド教室 | ①・② | 1回 16人 |
| 青少年教育 (2) | 子どもクッキング | ②・③ | 2回 12人 |
| | 夏休み子ども卓球教室 | ③ | 5回 20人 |
| | キャラクター生地でメダル作り | ①・② | 1回 16人 |
| | ランチクッキング | ①・② | 1回 16人 |
| | 子ども消しゴムはんこ作り | ② | 1回 6人 |
| 成人教育 (3) | 男の料理教室 | ①・② | 3回 16人 |
| | 趣味の園芸 | ①・② | 2回 16人 |
| | ヨガ・ストレッチ | ①・② | 1回 13人 |
| | 消しゴムはんこ作り教室 | ①・② | 1回 6人 |
| | 認知症出張講座 | ② | 1回 37人 |
| 団体育成 (4) | 世代間交流 | ① | 1回 184人 |

(2) 講座以外に行った事業

センター美化交流・ハロウィン de 仮装・電車&ミニカー遊び・フェスタA・K・B
センターフェスティバル・通学合宿・カラオケ大会・影絵劇

(3) 情報の提供

広報紙・センターだより・児童室だより、他館等へのポスター掲示、地域へのチラシ配布、ホームページ掲載

(4) 施設の提供

地域の会合や話し合いの場としての提供や施設備品等の貸与により積極的活用を進めた。

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|---|---|------|---|
| 講座名 | ベビーサイン | | |
| 対象 | 市内在住の生後6ヶ月から1歳までの子とその保護者 | | |
| 募集人数 | 10組 | 参加人数 | 8組16人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 ・乳幼児のしぐさから母親へのメッセージに気が付かず見落としている場合がある。 | | | |
| 目標 ・言葉の話せない赤ちゃんの伝えたいことが分かり、母親の育児のフラストレーションの低下を目指し、親子の絆を深める。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年4月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 視聴覚室 | | |
| 予算 | 総額：6,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料5,000円 その他事業費1,000円 | 決算 | 総額：5,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料5,000円 その他事業費0円 |
| 講師 | 三上千賀さん | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 「ベビーサインとは」 日常生活の中で、母親と赤ちゃんの生活に必要な言葉のサインである。ベビーサインを使い、赤ちゃんとの会話が出来ると、母親のストレスが減り、親子の絆も深まり、話し言葉の発達を助けることにつながる。 家にある物（ビニール袋・輪ゴム・折り紙）でヨーヨーを作り遊んだ。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ベビーサインが出来ると、赤ちゃんの伝えたいことが分かりやすくなり、母親以外で赤ちゃんをあやすことができ、母親の自由時間が持てるようになる。 ベビーサインを始める目安は、6ヶ月以降でお座りが出来るようになってからがベストだが、遅すぎるといふ事もなく、サインを使うまでに早い子、遅い子がいる。赤ちゃんの能力は、素晴らしく、諦めずに使い続ける事が大切である。参加した母親と赤ちゃんはとても楽しそうに、ベビーサインを習っていた。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|--|--------|--|
| 1 | 4月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーサインの説明 (DVD) ・実践 ・ヨーヨー作り | 三上千賀さん | 母親が未だ話すことのできない赤ちゃんの出すサインを認識することで、コミュニケーションの疎通を深め、親子のきずなを深める。 |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|---|------|--|
| 講座名 | ベビーマッサージ | | |
| 対象 | 市内在住の2カ月～歩行前までの乳児とその保護者 | | |
| 募集人数 | 10組 | 参加人数 | 8組16人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 共働き世帯が多くなり、我が子とのふれあいの時間が減少している親子が増えている。 | | | |
| 目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ベビーマッサージを通じて親子の絆を深め、他の親子と交流を図る事で、親子が集うきっかけ作りをする。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年9月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 休養室2 | | |
| 予算 | 総額：6,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料5,000円 その他事業費1,000円 | 決算 | 総額：5,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料5,000円 その他事業費 0円 |
| 講師 | ベビーマッサージセラピスト 高橋佳子さん | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 初めての参加者にも、なじめるように雰囲気作りを心がける。 参加者同士で交流を図ることができるように、声掛けをした。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ベビーマッサージを通じて親子のコミュニケーションがとれた。赤ちゃんもリラックスして楽しそうだった。講座終了後、講師から子育てについてのアドバイスがあった。月齢の近い参加者同士の交流もでき終始良い雰囲気でも過ごすことが出来た。 | | | |
| 備考 | | | |
| 生後3カ月4人、生後4カ月1人、生後6カ月3人 保護者 母親8人+祖母1人 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-----------|--|--------|-----------------------------|
| 1 | 9月 17日 | <ul style="list-style-type: none">・ベビーマッサージの説明・ベビーマッサージ実践・講師への質問 | 高橋佳子さん | 親子の絆を深める 参加者同士の交流を 図る |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|---|
| 講座名 | ベビー&キッズ おはなし会 | | |
| 対象 | 市内在住生後2カ月から未就園児の親子 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 4組8人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 課題 ・家庭での遊びはマンネリ化している。 目標 ・いつもとは違う環境で親子の時間を楽しみ、同じ関心を持つ参加者同士の交流を深める。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年11月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 視聴覚室 | | |
| 予算 | 総額：7,560円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費7,560円 | 決算 | 総額：1,998円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 1,998円 |
| 参加者等への指導・援助方法 ・初めての参加者にもなじめるように雰囲気作りを心掛ける。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） ・大型絵本とキーボードの合体で、楽しくリズムに乗りながらお話を聞く事ができた。 ・同世代同士で講座が終わった後も児童ルームで遊んでいた。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|--------|--|-------------------|-------------|
| 1 | 11月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・手遊び「ひげじいさん」 ・キーボードと絵本の合体読み聞かせ「どどどどど」 ・大型絵本「もこもこもこ」 ・絵本「おべんとう」 ・手遊び「おべんとう箱のうた」 ・キーボードと大型絵本の合体読み聞かせ「どうぞのいす」 ・手遊び「大きな栗の木の下で」 | おはなしバスケット宮本さん、他3人 | 参加者同士の交流を図る |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|--|
| 講座名 | 離乳食を作って食べてみよう | | |
| 対象 | 市内在住の2カ月～8カ月の親子 | | |
| 募集人数 | 16組 | 参加人数 | 7組14人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・どのような離乳食を乳児に与えてゆけばよいかを認識している母親が少ない。 | | | |
| 目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士に離乳食の進め方を教わり調理実演したものを母親が試食。それにより固さ、量、味付けを体験する。 ・他の親子と交流を図ることで、親子で集うきっかけ作りをする。 ・楽しく離乳食を作る。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年7月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 調理室 | | |
| 予算 | 総額：4,700円 ※うち参加者負担金： 100円×8人 内訳：講師料 0円 その他事業費4,700円 | 決算 | 総額：899円 ※うち参加者負担金： 100円×8人 内訳：講師料 0円 その他事業費 899円 |
| 講師 | 栄養士・宇田川さん、滝口さん | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・初期、中期、後期の固さに分けた食材（おかゆ・鶏のささみ・かぼちゃ・にんじん・豆腐）を栄養士が作り、母親達が試食。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「母乳はよく飲むのに離乳食はあまり食べない」、「ちゃんとカミカミしてくれない」、「体重が増えすぎている」など色々な相談があり、母親同士雑談もしながら終始楽しい雰囲気でも過ごすことができた。 7組中2組は第二子でお互いの離乳食の情報交換ができた。 頑張りすぎないでたまに手抜きもしながら、楽しく離乳食作りができるように栄養士からアドバイスがあった。 | | | |
| 備考 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・1人当日キャンセル | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|------|--|---------------|---------------------------|
| 1 | 7月2日 | <ul style="list-style-type: none">・「離乳食とは？」・だし（かつお、こんぶ）の取り方・実食・カボチャのアレンジ料理・栄養士への質問 | 宇田川さん 滝口さん | それぞれの時期の離乳食の固さや食べ方を知ってもらう |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|-------------|------|-----|
| 講座名 | ベビー&キッズ 映画会 | | |
| 対象 | 乳幼児親子 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 51人 |
| <p>講座・学級開設の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 各家庭では芸術鑑賞としての時間を持てる機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの感性を磨き個々の情緒や創造性をはぐくみ、鑑賞を通して芸術の裾野を広げる。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年9月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 視聴覚室 | | |
| 予算 | 0円 | 決算 | 0円 |
| 講師 | | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品は上映時間が10分から17分の短編アニメだったが、対象年齢をふまえ合間に、トイレ休憩タイムを設けた。 | | | |
| <p>講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童厚生員が上映。自由参加形式で行っているが、年々参加者が減少。今回は、敷地隣の富士保育園に提案し、保育園児が38人参加。一般参加は4組。 児童館事業では、定番の講座。想像力や言語能力が高まり、感情豊かになるなど、その効果が期待されているので、細く長く行事を継続していきたい。 | | | |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士保育園より（園児38人、引率4人）運営協議会2人、児童厚生員1人 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|------|---|-----|-----------------------------------|
| 1 | 9月9日 | 16ミリフィルムの映画を上映 日本むかしばなし つるのおんがえし みにくいアヒルの子 ワオくんのはね | | 子どもたちの感性を磨き 個々の能力や創造性を はぐくむ |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|--|
| 講座名 | 親子&いちご（児童館共催） | | |
| 対象 | 生後2か月から未就園児迄の親子 | | |
| 募集人数 | 40組 | 参加人数 | 延べ547人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 ・生後～未就園児の参加できる講座が少ない。 | | | |
| 目標 ・普段とはちがう環境で、参加親子同士の交流をはかる。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年4月～平成27年3月 | 回数 | 10回 |
| 学習場所 | 児童ルーム（学習室・保育室）・大集会室など | | |
| 予算 | 総額：51,300円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費51,300円 | 決算 | 総額：43,4350円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費43,4350円 |
| 講師 | 児童厚生員・白井市役所歯科衛生士 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 ・季節柄を駆使した講座内容を考え、参加しやすいように心がける。 ・参加した親子が不安にならないように、目配り・気配り・心配りを地域ボランティアさんをお願いする。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） 地域ボランティアの協力体制もあり、和やかな雰囲気の中で時間が過ごせた。参加者は講座終了後の茶話会で、情報収集に努めていたように見受けられる。 | | | |
| 備考 ・ボランティアは10人前後 ・「親子で楽しく過ごそう」は、富士センター主催 ・「いちごクラブ」は、白井第三小学校区社会福祉協議会主催 | | | |

学習報告

| 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 学習のねらい |
|--------|---|-------------|
| 4月9日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・大型絵本の読み聞かせ ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 25組50人 ボランティア10人 合計60人 | 参加者同士の交流を図る |
| 5月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・手形とり、身長体重測定 ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 17組34人 ボランティア9人 合計43人 | |
| 6月11日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・口内チェックパッチテスト (市役所健康課の歯科衛生士による) ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 26組52人 ボランティア11人 歯科衛生士1人 合計64人 | |
| 7月9日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・ペットボトルシャワーの作品づくり ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 13組26人 ボランティア12人 合計38人 | |
| 9月10日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・大集会室でミニ運動会 ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 27組55人 ボランティア12人 合計67人 | |
| 10月8日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・ハロウィン壁画作りとカボチャの福笑い ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 27組55人 ボランティア13人 合計68人 | |
| 11月12日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・パネルシアターと読み聞かせ ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 23組46人 ボランティア9人 講師1人 合計56人 | |

| | | |
|---------|---|-------------|
| 1 2月10日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・オリジナルカレンダー作り ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 16組32人 ボランティア8人 合計40人 | 参加者同士の交流を図る |
| 2月18日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・バルーンアート ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数17組36人 ボランティア8人 合計44人 | |
| 3月11日 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操や手遊び ・ミニゲーム ・参加者同士の交流として茶話会 参加人数 26組54人 ボランティア13人 合計67人 | |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|--|
| 講座名 | みるく | | |
| 対象 | 生後2か月から未就園児までの親子 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 96人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 課題 ・親子で同じ時間を共有する機会の減少 ・地域の人との関わりが希薄 目標 ・地域の人100人と知り合いになろう。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年4月～平成27年3月 | 回数 | 9回 |
| 学習場所 | 児童ルーム（学習室・保育室） | | |
| 予算 | 総額：51,300円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費51,300円 | 決算 | 総額：39,792円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費39,792円 |
| 講師 | | | |
| 参加者等への指導・援助方法 ・遊び、ティータイムの中で保護者同士の交流を図れるよう手助けをする。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） ・地域ボランティアと知り合いになることで、センターの中だけではなく地域でも挨拶等ができるようになった。 ・保護者間で、みるくを通じて友達の輪が広がっている。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|--|-----|-----------------|
| 1 | 4月4日 | 手遊び、お誕生日会、こいのぼり作りの後、手づくりケーキでティータイム 参加人数 幼児51人、保護者45人、ボランティア12人 | | 保護者同士の横のつながりを作る |
| 2 | 6月6日 | 手遊び、お誕生日会、かえる作り、トンネル遊び、魚釣り遊び、ボールプールの後、ティータイム 参加人数 幼児32人、保護者30人、ボランティア11人 | | |
| 3 | 7月11日 | 手遊び、お誕生日会、七夕飾り、ボールプール、ヨーヨー釣りの後、ティータイム 参加人数 幼児17人、保護者15人、ボランティア10人 | | |
| 4 | 9月5日 | 手遊び、お誕生日会、わらべ歌、読み聞かせ、シャボン玉遊びの後、ティータイム 参加人数 幼児35人、保護者30人、ボランティア11人 | | |
| 5 | 10月3日 | 手遊び、お誕生日会、わらべ歌、読み聞かせ、ハロウインの後、ティータイム 参加人数 幼児30人、保護者28人、ボランティア10人 | | |
| 6 | 11月7日 | 手遊び、お誕生日会、わらべ歌、読み聞かせ、おいも掘り、の後ティータイム・おいもごはんの試食 参加人数 幼児35人、保護者33人、ボランティア10人 | | |
| 7 | 12月5日 | 手遊び、わらべ歌、クリスマスカード作り、読み聞かせ、クリスマス会の後、ティータイム 参加人数 幼児45人、保護者43人、ボランティア11人 | | |

| | | | | |
|---|------|--|--|-----------------|
| 8 | 2月6日 | 手遊び、わらべ歌、おひなさま作り コンコンクションの後、ティータイム 参加人数 幼児22人、保護者22人、ボランティア10人 | | 保護者同士の横のつながりを作る |
| 9 | 3月6日 | センターフェスティバルの準備手伝い、焼き菓子等販売準備 参加人数 ボランティア9人 | | |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|---|------|---|
| 講座名 | 親子でゴーゴーチャレンジ | | |
| 対象 | 市内在住の小学生（1～3年生は保護者同伴） | | |
| 募集人数 | 15人 | 参加人数 | 13人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 ・親子共同での物づくりの機会が少なくなっている。 | | | |
| 目標 ・夏休みに入り、低学年生は保護者の補助によって、先生の指導にもとづき日頃使い捨てされるアルミ缶を用いて創意工夫しながら作業をやり遂げる。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年7月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 総額：30,400円 ※うち参加者負担金： 300円×14人 内訳：講師料 0円 その他事業費26,200円 | 決算 | 総額：6,252円 ※うち参加者負担金： 300円×14人 内訳：講師料 0円 その他事業費6,252円 |
| 講師 | 缶饗（環境）造形作家 津田のぼる先生 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 ・先生の説明・指導に従いラジオペンチ等の工具を使い、創造・工夫をしながら理想のフクロウを各工程を経ながら作成してゆく。 ・親子の共同作業にもなり、普段と違った形で親子の関係を深める。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） 男女の区別なく全員が積極的に製作に没頭。2時間30分にわたり、集中力が持続でき、努力が次第に形となって現れる楽しみを経験できた。 全員が完成することの充実感を味わえた教室であった。 | | | |
| 備考 ・児童ルーム共催 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|--|---------|--|
| 1 | 7月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ・開講挨拶、講師紹介 ・アルミ空き缶を利用して、動物（フクロウ）を作る。 ・講師より各自に用意された、金切りはさみ、ラジオペンチ、グルー鎧を使い、アルミ缶の切断、接着、塗装までを行う。 | 津田のぼる先生 | 工具の安全で正しい使い方の指導 各自の創造を膨らまし独自の感性を發揮させる |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|---|--|------|--|
| 講座名 | 親子で作ろうハンドメイド教室（児童ルーム共催） | | |
| 対象 | 市内在住の小学生とその保護者 | | |
| 募集人数 | 12人 | 参加人数 | 16人 |
| <p>講座・学級開設の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭では、親が先走りし子どもが出来ないと思込んでいることが多々ある。その結果、子どもが挑戦する機会が失われている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品作りを通して、親子の交流と裁縫の基本を知ってもらう。 ・危ないと思っていることでも、手順をふめば安心して取り組めることを学ぶ。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年8月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 総額：3,200円 ※うち参加者負担金： 200円×16人 内訳：講師料 0円 その他事業費3,200円 | 決算 | 総額：3,200円 ※うち参加者負担金： 200円×16人 内訳；講師料 0円 その他事業費3,200円 |
| 講師 | | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとに、材料や手順を講師がわかりやすく説明する。 ・作品作りの準備を細かくすることで、手際よく講座を進める。 ・けがのないように細心の注意をはらう。 | | | |
| <p>講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は定員で締め切ったが、急遽、当日参加者2名追加となった。 ・参加した子どもは大人が見守る中、裁縫道具を器用にこなし、メダル作りに夢中になっていた。出来栄えに感激し、早速取り付けたりして喜ぶ様子がうかがえた。 | | | |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生11人 ・一般参加者 5人 ・児童ルーム共催 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|---|-----------------------|------------------------|
| 1 | 8月29日 | <ul style="list-style-type: none">・裁縫道具の安全な使い方の説明・作品作り（メダル）の手順説明・作品作り・出来栄え披露 | 富士センター 運営協議 会職員 | 作品作りを通して裁縫道具の安全な扱い方を学ぶ |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|--|
| 講座名 | 子どもクッキング | | |
| 対象 | 市内在住の小学生 | | |
| 募集人数 | 12人 | 参加人数 | 12人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 ・異学校間、異学年の交流が不足している。 | | | |
| 目標 ・他地域の子ども達同士の交流を図る。 ・異学校間、異学年との交流の中で、学ぶ楽しさを実感する。 ・料理を通して「自立」（子どもが選択・料理・片付けまでできる）と、「生きる力」を育む。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年5月・11月 | 回数 | 2回 |
| 学習場所 | 調理室 | | |
| 予算 | 総額：16,380円 ※うち参加者負担金： 300円×12人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費11,380円 | 決算 | 総額：10,713円 ※うち参加者負担金： 300円×12人 内訳：講師料5,000円 その他事業費5,713円 |
| 講師 | 須藤喜美子さん、井福恵子さん | | |
| 参加者等への指導・援助方法 ・資料をもとに、材料や手順を講師がわかりやすく説明した。 ・ケガがないように細心の注意をはらい、補助をする。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） 今回の講座では、友人同士の申し込みが多く、同じ班になりたいという希望があったので、そのように対応し、参加者は仲良く作業をしていた。計量に時間がかかるなど、想定の時間配分でできなかったものの、それぞれの班で自然と役割分担ができ、スムーズに講座を終えることができた。材料の計量が違ってしまい、出来上がりが違ってしまった班もあったが、歯触りの違う食感が逆に美味しいと喜ぶ参加者もいて、手作りならではの良さと、レシピをアレンジし、料理は無数の可能性があり、楽しいという事を感じられた。 異学校間・異学年の交流は望めなかったが、友情が深まった行事となった。 講師からも、子供を対象にした行事に携わる事が出来て、本当に嬉しかったという感想を頂き、大変有難かった。 | | | |
| 備考 | 補助 富士センター運営協議会職員3人 | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|--------|---|---------------------|----------------------------|
| 1 | 5月17日 | <ul style="list-style-type: none"> ・カントリークッキー作り ・試食 ・ココアクッキー作り ・試食 ・ラッピング ・後片づけ | 須藤喜美子さん | 料理を学ぶ楽しさを実感する。 |
| 2 | 11月29日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ツリーパンケーキ作り ・ミルク汁粉作り ・手作りバター作り ・試食 ・後片付け | 千葉県牛乳普及協会 井福恵子さん | 乳製品の栄養について学びながら料理に結びつけ楽しむ。 |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|--|--------------------|--------------------------------|
| 1 | 7月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、ラケットの持ち方や卓球台の出し方やネットの張り方の指導と練習 参加人数 18人 | 煤賀郁雄さん アシスタント2人 | 異学区異学年の交流を図る 達成感を味わうきっかけとする |
| 2 | 7月29日 | <ul style="list-style-type: none"> ・卓球指導・練習 参加人数 17人 | | |
| 3 | 8月5日 | <ul style="list-style-type: none"> ・卓球指導・練習 参加人数 14人 | | |
| 4 | 8月19日 | <ul style="list-style-type: none"> ・卓球指導・練習 参加人数 12人 | | |
| 5 | 8月26日 | <ul style="list-style-type: none"> ・卓球指導・練習・試合形式 ・修了証書授与式 ・昼食を食べながら、交流を図る。 ・アンケート記入 参加人数 17人 | | |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|---|---|------|---|
| 講座名 | キャラクター生地でメダル作り（児童ルーム共催） | | |
| 対象 | 市内在住の小学生とその保護者 | | |
| 募集人数 | 12名 | 参加人数 | 16名 |
| <p>講座・学級開設の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭では、親が先走りして、子どもが出来ないと思込んでいることが多々ある。その結果、子どもが挑戦する機会が失われている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品作りを通して、親子との交流と裁縫の基本を知ってもらう。 危ないと思っていることでも、手順をふめば安心して取り組めることを学ぶ。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年8月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 総額：3,200円 ※うち参加者負担金： 200円×16人 内訳：講師料 0円 その他事業費3,200円 | 決算 | 総額：3,200円 ※うち参加者負担金： 200円×16人 内訳；講師料 0円 その他事業費3,200円 |
| 講師 | 富士センター運営協議会職員 | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、材料や手順を講師がわかりやすく説明する。 作品作りの準備を細かくすることで、手際よく講座を進める。 けがのないように細心の注意をはらう。 | | | |
| <p>講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数は定員で締め切ったが、急遽、当日参加者二名追加となった。 参加した子どもは大人が見守る中、裁縫道具を器用にこなし、メダル作りに夢中になっていた。出来栄えに感激し、早速取り付けたたりして喜ぶ様子うかがえた。 | | | |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生11人、一般参加者5人 児童ルーム共催 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|---|---------------|------------------------|
| 1 | 8月29日 | <ul style="list-style-type: none">・裁縫道具の安全な使い方の説明・作品作り（メダル）の手順説明・作品作り・出来栄え披露 | 富士センター運営協議会職員 | 作品作りを通して裁縫道具の安全な扱い方を学ぶ |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|---|------|---|
| 講座名 | ランチクッキング | | |
| 対象 | 市内在住一般 | | |
| 募集人数 | 16人 | 参加人数 | 16人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・調理室の利用が少ない。 ・パン作りを基礎からきちんと手軽に教えてくれる指導者を見つけにくい。 | | | |
| 目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・パン作りは時間を要するため、手軽に調理し作れるようにする。 ・同じ興味を持つ人同士を募り、サークル化を目指す。 ・参加者同士の交流、親睦を図る。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年10月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 調理室 | | |
| 予算 | 総額：8,080円 ※うち参加者負担金： 500円×16人 内訳：講師料 0円 その他事業費8,080円 | 決算 | 総額：10,260円 ※うち参加者負担金： 500円×16人 内訳：講師料 0円 その他事業費10,260円 |
| 講師 | 日本製粉クッキングアドバイザー 斉藤とし子さん | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面に気をつけ、指導した。 ・アシスタント2人を運営を円滑にするため補助要員として設けた。 ・全員が参加できるよう目を配った。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員に満足してもらえた。 ・講師の手際よさと話術で、忙しく動く中でも和気あいあいとできた。 ・サークル化、回数をふやして欲しいとの声が多かった。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|--------|---|----------------------------|--------------------------|
| 1 | 10月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・パン2種（バターロールとあんぱん）、焼き海苔のクリームペンネ、ブロッコリーと洋ナシのサラダを作り、交流を兼ねたランチを行なう。 ・パンは一人ずつ手ごねで体験できるようにする。 | 日本製粉クッキングアドバイザー 斉藤とし子さん | 調理室の利用を促進するとともに、サークル化を促す |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|---|--|------|--|
| 講座名 | 子ども・消しゴムはんこ教室 | | |
| 対象 | 市内在住の小学4年生から高校生 | | |
| 募集人数 | 8人 | 参加人数 | 6人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちはカッターや彫刻刀を日ごろ使いなれていない。 ・パソコンの普及により文字を自分の手で表現する楽しさを知らない。 | | | |
| 目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・作品作りを通して、手作りの味わいと仕上がりの喜びを楽しんでもらう。 ・同じ興味を持つ仲間同士の交流を深める。 | | | |
| 学習期間 | 平成27年3月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 総額：1,800円 ※うち参加者負担金： 300円×6人 内訳：講師料 0円 その他事業費1,800円 | 決算 | 総額：1,800円 ※うち参加者負担金： 300円×6人 内訳；講師料 0円 その他事業費1,800円 |
| 講師 | 富士センター運営協議会職員 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が抵抗なく取り組めるように、雰囲気作りを心がける。 ・資料をもとに、材料や手順を講師がわかりやすく説明する。 ・作品作りの準備を細かくすることで、手際よく講座を進める。 ・けがのないように細心の注意をはらう。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・初めて消しゴムはんこを作る方だったので、カッターナイフの扱い方に苦戦していたが、コツを覚えると個々に好きな図案を彫り夢中になっていた。出来栄えに感激し、「もっといろいろな図案で彫ってみたい」との声があり、今後の作品作りに意欲を持つ様子が見えかけた。 | | | |
| 備考 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者 6人 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|---|---------------|--|
| 1 | 3月25日 | <ul style="list-style-type: none"> ・カッターナイフの安全な使い方の説明 ・作品作り（消しゴムはんこ）の手順説明 ・作品作り ・作品を使ったカード作り ・出来栄え披露 | 富士センター運営協議会職員 | <p>作品作りを通して手作りの楽しさを知ってもらおう。</p> <p>カッターナイフの安全な扱い方と消しゴムの彫り方を学ぶ。</p> |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|---|------|---|
| 講座名 | 男性料理教室 | | |
| 対象 | 市内一般男性 | | |
| 募集人数 | 16人 | 参加人数 | 16人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・老齢化による一人暮らし、共稼ぎによる家事の分担により男性による料理が必要とされている。 | | | |
| 目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・料理作りを学ぶと共に、バランス・減塩等、栄養面の学習もする。 ・他地域、異年齢の人達との交流をはかり、社交性を高める。 ・自分の食事を作ることにより自らの健康に気を配り、元気に暮らしていくことにつなげる。 ・バランスのよい食事を考える。 ・料理を身近なものとし、積極的に台所に立つようにならしてもらう。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年6月、12月、平成27年2月 | 回数 | 3回 |
| 学習場所 | 調理室 | | |
| 予算 | 総額：45,400円 ※うち参加者負担金： 500円×28人 内訳：講師料 0円 その他事業費45,400円 | 決算 | 総額：24,985円 ※うち参加者負担金： 500円×28人 内訳：講師料 0円 その他事業費24,985円 |
| 講師 | 市健康課管理栄養士 児島まゆみさん、栄養改善推進員3人 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一日三食【朝食、昼食、夕食】食べ、3つのお皿【主食、副菜、主菜】を揃える。 ・素材を切る。材料を計る。火加減・水加減など、調理の基本を学ぶ。 ・手洗い、消毒、食材の扱いと管理に注意し、食中毒に気をつける。 ・栄養士、推進員（3人）、運営協議会事務局（2人）が4台の調理台でアドバイスを 行い、スムーズにできるようにする。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・初対面の人達との調理で最初はぎこちなかったが、試食の時は会話もはずみ楽しい時間となった。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|--------|---|------------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 6月4日 | <ul style="list-style-type: none"> ・開講挨拶 ・食事のバランスについての講話 ・調理の基本の指導 ・調理実践（メニュー：豚肉の生姜焼き、ジャガイモのカラフルサラダ、豆腐とわかめの味噌汁、オレンジ） 参加人数 13人 自己負担金 500円 | 市健康課栄養士 児島まゆみさん 栄養改善推進員3人 | 毎日の食事のバランスを考え、それを日常生活で実践していく |
| 2 | 12月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・開講挨拶 ・「ピーナッツご飯」、「かぼちやのミルクそばろ煮」、「牛乳豚汁」、「セロリとイカの燻製和え」 ・塩分摂取の認識。 ・実食 ・後かたづけ 参加人数 11人 | 千葉県牛乳普及協会 講師1人 助手1人 運営協3人 | 和食と牛乳を合わせた料理 乳製品から摂取する栄養素の重要性 |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|---|--|------|--|
| 講座名 | 趣味の園芸 | | |
| 対象 | 一般 | | |
| 募集人数 | 各20人 | 参加人数 | 16人 |
| <p>講座・学級開設の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸・菜園に興味を持ち農作業に携わる市民の数が増えているが、正しい知識を聞き教えてもらう機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を通じ身近で具体的な園芸・菜園の知恵を学び実践する。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年11月、平成27年3月 | 回数 | 2回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 総額：41,200円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 31,200円 | 決算 | 総額：12,350円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料10,000円 その他事業費 2,350円 |
| 講師 | 長谷川則夫さん、農業士 海老原進さん | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常実践している園芸・菜園での問題点についてその解決法や、冬に向けての対策について専門家の先生より具体的にアドバイスをいただく。 | | | |
| <p>講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域性に密着したアドバイスの内容に一般論ではない具体的な説明を受け、即実践に役立つ講座であった。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------------|--|-------|--------------------|
| 1 | 1 1 月 2 2 日 | 冬の畑の管理方法、フィルム使用の注意、種の保存方法について学習。 参加者 1 5 人 | 長谷川先生 | 身近な園芸・菜園の冬対策や問題の解決 |
| 2 | 3 月 2 9 日 | 夏野菜作りの基礎事項、特性、栽培の留意点についての学習。 トマトの苗を使っての選定指導。 参加者 1 6 人 | 海老原先生 | 夏野菜作りの基本についての学習 |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|-----------------------|--|------|---|
| 講座名 | ヨガ・ストレッチ | | |
| 対象 | 市内在住の子育て中の女性 | | |
| 募集人数 | 30人 | 参加人数 | 13人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て中の母親が息抜きをする場所や機会がない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身のリラックスをし、子育ての息抜きのきっかけとしてもらう。 ヨガに親しむ 保育ボランティアを呼び、日頃育児を頑張っている母親に自分だけの時間を作ってもらい、健康な体作りに向けてセルフケアが出来るようにする。 | | |
| 学習期間 | 平成27年1月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 大集会室 | | |
| 予算 | 総額：9,900円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 4,900円 | 決算 | 総額：5,632円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 632円 |
| 講師 | IHTA認定ヨガインストラクター・IHTA認定産前産後ヨガインストラクター 小野寺恵子先生 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | <ul style="list-style-type: none"> 幼児連れの若い母親の参加があったので幼児に留意した。 参加者同士で交流を図ることができるよう声掛けをした。 | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | <ul style="list-style-type: none"> 講座後、参加者にアンケートを依頼。「子どもがいても楽しく体を動かせた」「子どもを見てくれたので安心して運動ができた」など保育付きの行事は今後もやって欲しいとの意見が多かった。 | | |
| 備考 | ボランティア2人、運営協議会2人 当日キャンセル6人 | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|----------------------------|---------|---------------------|
| 1 | 1月16日 | ・小野寺先生の進行に従ってヨガストレッチに取り組む。 | 小野寺恵子先生 | ヨガに親しむと共に心身リフレッシュする |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|--|
| 講座名 | 消しゴムはんこ教室 | | |
| 対象 | 市内在住の成人 | | |
| 募集人数 | 6人 | 参加人数 | 6人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの普及に伴い、手づくり文字への関心が減少している。 ・彫刻刀を使う機会がほとんど無くなってきている。 | | | |
| 目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・作品作りを通して、自分の余暇を楽しみ、同じ興味をもつ仲間同士で交流を深める。 ・サークル化を目指す。 ・手紙や年賀状など作るとき、パソコンを使って文字を書いたりする時代なので、アナログな方法で作った文字で表現する楽しさを知ってもらう。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年11月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 総額：1,800円 ※うち参加者負担金： 300円×6人 内訳：講師料 0円 その他事業費 1,800円 | 決算 | 総額：1,800円 ※うち参加者負担金： 300円×6人 内訳；講師料 0円 その他事業費1,800円 |
| 講師 | 富士センター運営協議会職員 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が抵抗なく取り組めるように、雰囲気作りを心がける。 ・資料をもとに、材料や手順を講師がわかりやすく説明する。 ・作品作りの準備を細かくすることで、手際よく講座を進める。 ・けがのないように細心の注意をはらう。 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・初めて消しゴムはんこを作る方だったので、カッターナイフの扱い方に苦戦していましたが、コツを覚えると個々に好きな図案を彫り夢中になっていた。出来栄えに感激し、「もっといろいろな図案で彫ってみたい」との声があり、今後の作品作りに意欲を持つ様子が見えたと。 | | | |
| 備考 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者 6人 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|--------|---|-----------------------|---|
| 1 | 11月11日 | <ul style="list-style-type: none"> ・カッターナイフの安全な使い方 の説明 ・作品作り（消しゴムはんこ） の手順説明 ・作品作り ・作品を使ったカード作り ・出来栄え披露 | 富士センタ ー運営協議 会職員 | <p>作品作りを通して手作 りの楽しさを知っても らう</p> <p>カッターナイフの安全 な扱い方と消しゴムの 彫り方を学ぶ</p> |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|-----------------|------|-----|
| 講座名 | 「認知症」出張講座 | | |
| 対象 | 白井市民、自治会、サークル | | |
| 募集人数 | 40人 | 参加人数 | 37人 |
| 講座・学級開設の課題と目標 | | | |
| 課題 | | | |
| ・「認知症」の正しい理解と予防法を学ぶ機会が少ない。 | | | |
| 目標 | | | |
| ・「認知症」を正しく理解し、病気のサインを見逃さないように、又日頃からできる予防法や改善方法の習得。 | | | |
| 学習期間 | 平成26年7月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 集会室 | | |
| 予算 | 0円 | 決算 | 0円 |
| 講師 | 認知症学習療法士 志摩正晃さん | | |
| 参加者等への指導・援助方法 | | | |
| 講習時間：2時間 | | | |
| 講習内容：①認知症の説明、②症状、治療、予防法、③認知症の人と接する心構え、④認知症の予防法 | | | |
| 講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） | | | |
| 50代～80代の37人が受講。家族や身近な人達に現実に起こっているテーマのため、正しい「認知症」認識の重要性及び対処法から予防法にわたる丁寧な説明で参加者全員に非常に有意義な講座であった。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|--|--------|--------------------------------------|
| 1 | 7月20日 | ・事前に準備した資料を配布し、プロジェクターを使いNHKの動画を組み込んだ、認知症の症状、障害の内容、理解と支援方法、早期診断、家族へのアドバイス、心構えについての説明など | 志摩正晃さん | 認知症に対する誤解をとり、原因、症状、対応、方法、予防方法についての啓蒙 |

講座・学級学習プログラム

| | | | |
|--|--|------|---|
| 講座名 | 世代間交流 | | |
| 対象 | 小・中・高校生・一般 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 184人 |
| <p>講座・学級開設の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供から高齢者までが一同に集う機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段、表に出かける機会の少ない高齢者が子供の頃に遊んだ昔ながらの遊びを子供達に教え一緒に遊ぶことにより世代間並びに地域の交流をはかると共に日本に伝わる伝統的な遊びを継承する。 | | | |
| 学習期間 | 平成27年1月 | 回数 | 1回 |
| 学習場所 | 大集会室・調理室・和室 | | |
| 予算 | 総額：83,600円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費83,600円 | 決算 | 総額：56,402円 ※うち参加費 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費56,402円 |
| 講師 | | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井市富士地区の各自治会、老人会、白井第3小学校への事前PRを回覧等で行い、当日は七草粥の提供と子供達への人気アニメの手製ストラップの配布を行うことにより参加者を募った。 ・時節にあった七草粥を提供することにより昔遊びと日本の伝統を体験する。 | | | |
| <p>講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者人数は184人（幼児11人、小学生70人、大人51人、ボランティア40人、運営協議会12人）。 ・老人会あげでの協力もあり、沢山の高齢者の参加で子供達に手とり足とりで昔懐かしい遊びを各自思い出しながら一緒に夢中になって行うことができた。 | | | |
| 備考 | | | |

学習報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------|---|-----|---|
| 1 | 1月12日 | <ul style="list-style-type: none"> ・かるた、駒回し、羽根付き、お手玉、将棋、囲碁、百人一首、あやとり、おはじき、けん玉にわかれ、高齢者はそれぞれ得意な遊びにわかれ、子供達と一緒にあそぶ。 ・多くの遊びを経験できるように、3つの遊びに参加することで手作りのストラップを配布する。 ・時節にあった七草粥を提供し、日本の正月の伝統を体験できるようにする。 | | <p>昔遊びを通じて、高齢者と子供たちが共に触れ合える貴重な経験をつむ</p> <p>同じ地域に生活をする各世代と一緒に集うことにより連帯と思いやりの気持ちを育む</p> |

事業活動

| | | | |
|---|--------------|------|-----|
| 事業名 | スマイル美化クリーン運動 | | |
| 対象 | 一般 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 29人 |
| <p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士センター館外周辺及び駐車場の雑草が目立つようになった。 ・センター利用の個人・団体サークルにおいて当センター美化に対する意識が低下。 ・雑草の除去清掃、花壇等の植物維持は定期的な作業が求められる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同で作業をすることにより富士センター地域の住民への帰属意識を高め、作業後の達成感を味わい、参加者同士の交流の場とする。 | | | |
| 期間 | 平成26年6月・10月 | 回数 | 2回 |
| 場所 | 富士センター館外周辺 | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に参加できるよう、仕事の分担化を図る。 ・熱中症、ケガの予防に注意し、無理強いをさせない。 | | | |
| <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動センターとしての富士センターを意識づけることができ、参加者の連帯感も強化された。 | | | |
| 備考 | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------|---|--|
| 1 | 6月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に①作業内容、②草木苗用肥料、③寄付提供の草木を準備し、当日の作業分担がスムーズに行われるようにした。 ・プランターへの花植え。 ・除草作業（ゴミ袋25個） ・参加人数（27人） | 共同作業による参加者同士の緊密化。地域の活動中心として富士センター存在の意識を高める |
| 2 | 10月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ・会長、センター長挨拶 ・作業内容、作業分担説明 ・作業 ・親睦会 ・参加人数（29人） | センター利用者が、積極的に美化活動を行うことの意識を高める |

事業活動

| | | | |
|---|--------------------|------|--------|
| 事業名 | ハロウィンde仮装 | | |
| 対象 | 乳幼児とその保護者 | | |
| 募集人数 | 30組 | 参加人数 | 22組44人 |
| 事業の課題と目標 ・季節を感じる講座が少ない。 目標 ・季節行事を通して他の親子と交流を図り、親子で集うきっかけ作りをする。 | | | |
| 期間 | 平成26年10月 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 学習室、集会室、富士センター1階廊下 | | |
| 参加者等への指導・援助方法 ・怪我や事故のないように細心の注意を払う。 ・初めての参加者にも、なじめるように雰囲気作りを心がける。 | | | |
| 事業の成果（課題や目標に対して） ・22組の親子が一同に会し、季節の伝統行事を楽しく仮装し写真に収めることで親子の生き生きとした交流ができた。 | | | |
| 備考 当日キャンセル8組。 （3組は連絡あり、5組は連絡なし） ボランティア5人、運営協議会3人 | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------|---|--|
| 1 | 10月31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンで仮装した参加の親子写真撮影。 ・ダンボールで作ったお菓子の家の中からお菓子を参加者に配る。 ・ハロウィンのカボチャの型のクッキーにチョコペンで顔を書いてもらい、みんなで食べる。 ・写真をプリントして台紙に貼り参加者に渡す。 | <p>参加者同士の交流を図る 季節行事を意識し、参加者に楽しんでもらう</p> |

事業活動

| | | | |
|--|-----------------------------|------|-------|
| 事業名 | 電車&ミニカーあそび（児童館共催） | | |
| 対象 | 未就学児とその家族 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 9組18人 |
| <p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族が多く、特に第一子は、自宅内でのひとり遊びが多い。 ・週末に開催する回を設け、父、祖父、兄弟と一緒に参加し行事を楽しむ。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段とはちがう環境で、参加親子同士の交流を図る。 ・父親の育児参加を目的とした、子育て支援活動を企画する。 | | | |
| 期間 | 平成26年5月、10月、11月、 平成27年1月 | 回数 | 4回 |
| 場所 | 視聴覚室、大集会室 | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びをパターン化せず、参加者主体の雰囲気作りをし、児童ルーム利用のきっかけづくりになるような意見を吸い上げていく。 | | | |
| <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初の試みで土曜日に実施。しかし、学区内の中学校の運動会と重なってしまい、参加者がほとんど来なかった。図書室を利用してきた乳児親子に声をかけ、短時間ではあったが、楽しんで頂いた。今後は、敷地隣の保育園や、支援センターにも、ポスターを掲示するなど、告知を十分にするよう努めていきたい。また、公民館サークルの利用者から、ボランティア希望の申し出があり、ルールを組むなど協力的だったので、今後も公民館サークルとの交流を深めていければと考えている。 | | | |
| 備考 | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|--------|---|---------------------------|
| 1 | 5月31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄贈して頂いたおもちゃの線路や電車（プラレール）で、参加親子と一緒に遊ぶ。 参加人数 1組7名・ | 電車・ミニカー遊びを通して、参加者同士の交流を図る |
| 2 | 10月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路や線路を組み立てるのが大変で来ていたお母さん達に手伝ってもらった。みんなで組み立てながらコミュニケーションを図る事ができた。 ・ 大型新幹線の乗り物遊具が人気だった。順番を守って遊ぶ事が出来た。 9組18人 ボランティア2人 | |
| 3 | 11月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2組の父親参加があった。 ・ チラシを配布したが、思ったような集客につながらなかった。 ・ 次回開催を楽しみにしているとの声があった。 5組13人 ボランティア1人 | |
| 4 | 1月31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2歳児が1歳児に大型新幹線の乗り物を譲る場面も見られ、終始良い雰囲気でお過ごし事が出来た。 5組11人 ボランティア1人 | |

事業活動

| | | | |
|---|---------------------|------|------|
| 事業名 | 第2回地域体験交流 フェスタA・K・B | | |
| 対象 | 一般 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 619人 |
| <p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間を超えた地域住民参加による富士センターの活用が未だ不十分。 ・住民同士の交流機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士センター利用認定団体の活動を体験できる機会を提供し、地域住民連帯の活性化を目指す。 | | | |
| 期間 | 平成26年9月 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 富士センター内、ロビー、駐車場 | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段富士センターを利用する各認定団体が主体となり、体験に主眼をおいた地域住民参加のフェスティバルにする。 ・体験・発表内容は各認定団体で立案・準備し、今回不参加の認定団体も裏方としてフェスティバルをサポートする。 | | | |
| <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回に渡る準備会議を通じ、各認定団体が今回の地域住民体験参加の主旨を理解し実施したため、小学生から一般住民まで参加できるプログラムが盛り込まれ、熱心な参加が見られた。 ・一部サークルでは普段の活動ではみられない、高齢者と小学生の体験参加者との熱心な応答が印象的であった。 | | | |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの全面的な協力を得、天候にも恵まれ新旧年代の多くの参加者が得られた。 | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------|---|--|
| 1 | 7月19日 | <ul style="list-style-type: none"> 第1回フェスタAKB準備会議開催。認定団体との初顔合わせ。(事前に文書による実施通知により認定団体の参加有無の回答を入手。) 今回のフェスティバル開催の主旨説明 | 認定利用団体との交流 各認定団体がフェスティバル主体であることを徹底 |
| 2 | 8月1日 | <ul style="list-style-type: none"> 第2回フェスタAKB準備会議開催。フェスティバル体験発表場所決め。各係分担の調整。 | 全員での参加・運営を周知し徹底する |
| 3 | 8月30日 | <ul style="list-style-type: none"> 第3回フェスタAKB準備会議開催。フェスティバル開催詳細内容の確認。当日手伝い分担の確認。貸出備品の内容確認 | フェスティバル当日までの準備と当日の円滑な運営のための調整 |
| 4 | 9月27日 | <ul style="list-style-type: none"> フェスタAKB実施会場準備 会場設営 各参加団体の展示と装飾 | 決められた手順による円滑な準備と総合協力体制の確認 |
| 5 | 9月28日 | <ul style="list-style-type: none"> フェスタAKB開催 | 地域住民間の交流 地域住民へ各認定利用団体の活動内容を周知する場を提供 |

事業活動

| | | | |
|---|------------------------|------|---------|
| 事業名 | 富士センターフェスティバル | | |
| 対象 | 市内在住一般 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 1, 412名 |
| <p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士センター及び各サークル活動内容の域住民への浸透がまだ十分とは言えない。 ・富士センター利用団体同士の認識が浅く地域全体への広がりにつながらない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士センター及び各サークル活動の内容をフェスティバルを通じて地域住民に周知することにより連帯を深める。 ・富士センター利用団体同士のつながりを強化し互いの認識を深めることにより、地域交流の活性を図る。 | | | |
| 期間 | 平成27年3月 | 回数 | 2回 |
| 場所 | 富士センター全館（図書館除く）及び一部駐車場 | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や食中毒を起こさないよう食品従事者の検査、保健所への事前報告を行う。 ・実行委員会を設け、準備段階より各サークルが自主的に参加できるよう進める。 ・子どもから成人、お年寄りまで参加できる企画を盛り込む。 ・参加団体の責任分担を明確にし、全員参加のイベントにする。 | | | |
| <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候には恵まれなかったが、各利用団体サークルの十分な事前準備により多数の来場者を迎えることができた。 ・来場者の一部動線と展示内容の方法をさらに工夫することにより、より来場者の興味を引き付けることができると思われる。 ・来場者の年齢構成も広がっており、生涯学習の一拠点としての富士センターの役割を果たすことができた。 | | | |
| <p>備考</p> <p>入場者： 大人：742名、 高校生以下の子供：670名 （ボランティア80名）</p> | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------------|---|--|
| 1 | 1 1 月 8 日 | ・ 郵送による各サークルの参加確認 | 1 9 団体の参加 |
| 2 | 1 1 月 1 5 日 | ・ 第 1 回フェスティバル準備会議 | 実行委員長、副実行委員長の選出 下記事項の説明及び確認 ＝実子要領・準備日程 ＝団体別の利用時間及び会場 ＝調整、役割分担 備品数量の確認 |
| 3 | 1 2 月 2 7 日 | ・ フェスティバル実行委員会 | 各役割分担の実行委員（責任者）の選出 プログラム案の確認 駐車場、駐輪場の確認 行事保険、検便の実施内容の説明 各団体への装飾準備要請 |
| 4 | 3 月 6 日 | ・ フェスティバルの準備 | 会場設営、展示作業の実施 複合センターへパネル借用 |
| 5 | 3 月 7 ・ 8 日 | 第 2 4 回富士センターフェスティバル ・ 公民館関係 （発表、展示、模擬店他） ・ 児童ルームまつり （児童作品作り、ゲーム） | 各サークルの発表、展示、バザー、カラオケ発表の実施 |

事業活動

| | | | |
|--|---------------|------|-----|
| 事業名 | 第9回富士センター通学合宿 | | |
| 対象 | 白井第三小学校4～6年生 | | |
| 募集人数 | 20人 | 参加人数 | 19人 |
| <p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃、直接・間節的に見守られている学童の地域とのかかわり合いの認識。異なる学年、年齢の児童同士の協力関係の大切さを3泊4日の共同生活を体験することで学ぶ。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校の教室では体験できない事」、「友達に対する思いやり、家族のありがたさ」、「自分で考え、行動する姿勢」、「地域の人達の愛情」を学び、感じさせること。 | | | |
| 期間 | 平成26年7月 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 富士センター | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩である中学生のボランティアを交え、朝食、夕食の買出し準備から調理までを4班に分け実施。また一般家庭へのもらい風呂の実施。 ・各班を4年生から6年生の混成とし、寝食をともにする。 | | | |
| <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生のボランティア及び地域家庭の協力のもと、普段では経験のできない体験を通じ、今回の事業目標に沿った活動ができた。 | | | |
| <p>備考</p> <p>ボランティア107人</p> | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 学習主題・内容・方法等 | 講 師 | 学習のねらい |
|----|-------------------|--|-----|--|
| 1 | 7月 13日～ 16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・起床、朝食準備、朝食、登校、下校、買い物、夕食準備、夕食、お風呂（もらい風呂）、自主学習、班長会議、就寝の集団行動を実施。 ・夕食コンテスト（1回）の実施。 ・もらい風呂の実施。 | | 混成学年による集団行動を通じ人への思いやりと助け合いの気持ちを育てる 夕食コンテストを通じた仲間との協力関係の樹立を図る もらい風呂の実施による地域の人々への感謝の気持ちを育む |

事業活動

| | | | |
|---|------------|------|------|
| 事業名 | 影絵劇 | | |
| 対象 | 乳幼児親子から小学生 | | |
| 募集人数 | 自由参加 | 参加人数 | 153名 |
| <p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段日常では味わえない、芸術鑑賞を通して情緒を育む。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの感性を磨き個々の情緒や創造性をはぐくみ、鑑賞を通して芸術の裾野を広げる。 | | | |
| 期間 | 平成26年8月 | 回数 | 1回 |
| 場所 | 大集会室 | | |
| <p>参加者等への指導・援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団員の方と積極的にコミュニケーションを図り、事前準備を進めた。 ・年齢構成を考え会場の席を仕切り、保育園児や小学校高学年など、年齢児応じて上映に集中できるよう工夫した。 ・上映中に泣き出す子や、トイレに中座するなどの誘導にボランティアを配置した。 | | | |
| <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・一般社団法人児童健全育成推進財団の「児童劇巡回事業」に応募し、当選した事業。富士保育園、第三小学校学童に提案し、参加していただく。 ・人格の形成の基礎は、児童期に培われるので、この時期に優れた児童劇・人形劇等にふれることにより児童の情操を高めることができる事業が、当センターで実施することができ、大変ありがたかった。 | | | |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士保育園園児、白井第三小学校学童児童、運営協議会7人、児童厚生員2人 | | | |

事業報告

| No | 月 日 | 事業内容・方法等 | 事業のねらい |
|----|-------|---|---------------------------|
| 1 | 8月22日 | ・影絵劇「魔法使いのおとぎばなし」上映 ワークショップ「光と影の手遊び」 | 子どもたちの感性を磨き個々の能力や創造性をはぐくむ |